

Morgan Stanley

モルガン・スタンレーのアジアにおける会長にスティーブン S. ローチが就任

[香港、2007年4月23日] モルガン・スタンレーは本日、同社の主席エコノミストであるスティーブン S. ローチが、本年6月にモルガン・スタンレーのアジアにおける会長に就任し、本年9月に香港に着任すると発表した。

同氏の就任に際し、モルガン・スタンレーの会長兼 CEO であるジョン J. マックは次のように述べている。「スティーブはウォール街で最も影響力のあるエコノミストとして、また我々の顧客にとって信頼できる助言者として広く認識されていると同時に、中国を含むグローバル経済の知的リーダーである。彼はその長けた経験、戦略的な思考とアジアに関する知識をもって、アジア地域の会長職に就任することとなる。」

またモルガン・スタンレー・アジアの CEO であるハンス・シュットラーは次のように述べている。「スティーブは、アジアにおいて一般にも広く知られたエコノミストであり、その観察力には定評がある。彼の豊富な経験、洞察力とアドバイザリー能力は、我々のアジア地域における事業展開の推進力を更に高めてくれるだろう。」

ローチは1982年にモルガン・スタンレーに入社した。現職において同氏は主席エコノミストとして同社のニューヨーク、ロンドン、フランクフルト、パリ、東京及び香港に在籍するエコノミストのチーム全体を監督している。同氏の調査レポートは幅広い分野のトピックを対象としており、近年は特に経済のグローバル化、生産性、中国とインドの台頭と企業リストラクチャリング等のテーマに注力している。新しい役職において彼は、アジアにおける政府、監督官庁およびクライアントに対するモルガン・スタンレーの代表者としての役目を果たすこととなる。

ローチは以下のように語っている。「このたび、アジアの優秀なチームに参画できることを喜ばしく思います。我々はアジア地域において強固なフランチャイズを既に持っており、今後の更なる成長のための計画と施策に貢献したいと考えております。」

モルガン・スタンレーは、投資銀行、証券、資産運用、ウェルス・マネジメント、クレジット・サービス事業において多岐にわたるサービスを提供する世界有数の総合金融サービス企業である。世界31カ国にある600以上のオフィスを通じて、法人、政府、機関投資家、個人に質の高い金融商品およびサービスを提供している。モルガン・スタンレーに関する詳細：www.morganstanley.com

###